

まえがき

ここに、平成15年度和歌山県教育研修センター研修員の1年間にわたる研修・研究の成果の一端を「研修員研究集録（第29集）」として刊行しました。

本年度から、全校種で新教育課程が実施され、新しい学習指導要領に基づく教育が展開されています。各学校では、教育内容の厳選、「総合的な学習の時間」の実施、教育課程の弾力的な運用を行い、基礎・基本を徹底しつつ、学び方や考え方の習得、個性を生かした教育の推進等、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

こうした中、当教育研修センターでは、今日的な教育課題を踏まえ、各種研修事業を実施し、教員の力量アップを支援しており、この長期研修員制度もその一翼を担っています。

本県の長期研修員制度は、昭和50年から実施され、今年で29年目となります。その間、374人の研修員を県内各地域に送り出し、その多くは、各地方や学校の中核として、また、教育行政機関等において活躍し、本県教育の充実・発展に大きく貢献しております。

本年度の長期研修員14名は、自らテーマを設定した一般研究と、センターがテーマ設定した指定研究に分かれ、授業研究、事例研究、調査研究等を行いながら、実践的研究を進め、その取り組みの成果や新たに見いだした課題等を本誌にまとめました。紙面の都合上、資料や授業記録等を大幅に割愛しなければならず、また、筆至らない部分も多々あるかと思われませんが、是非とも御高覧の上、忌憚のない御意見をいただければ幸いです。

最後になりましたが、各研修員が研究を推進するにあたり、あたたかい御支援・御協力いただきました教育関係機関並びに各学校の方々に、心から御礼申し上げます。

平成16年3月

和歌山県教育研修センター
所長 吉松敏隆